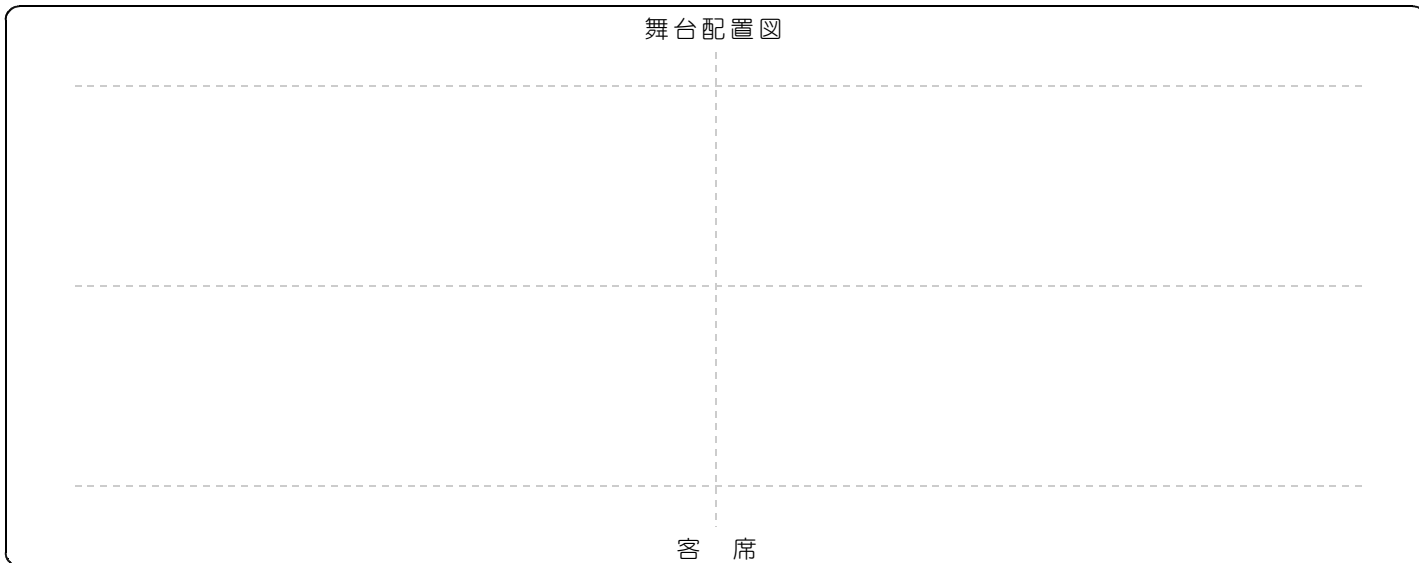


No.	陽 炎	演奏者数	演奏時間
-----	------------	------	------

舞台配置図



客 席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44										編成：1箏			2箏		
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾			
1 箏	D	G	A	C	D	F	G	A	C	D	F	G	A	平より四九六斗一音↑ 一は五の乙 = D		
2 箏			F											1箏一と2箏二が同音		
	C	D	E	G	A	C	D	F	G	A	C	D	D#	平より四九六斗一音↑ 八半音↑ 巾半音↓ 一は六の乙 二 = D		

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1971年 委嘱者 一 構成 箏 1・11 時間 7分 出版楽譜 前川出版

解説 四小節の序奏のあとは二つの箏にそれぞれ現れるテーマをはじめ、そこから派生したさまざまな音型が陽炎のゆれ、日光のきらめき、そしてそこはかたない感じを美しく描いている。特にきまった形式感はないが、最初に現れているテーマがさまざまに変化して見えつ隠れつ、結局、全体的に流れているのが特色である。1971年4月作曲。〔東芝レコード解説より 小島美子〕収録媒体 沢井忠夫 作品集1 讃歌 (MISH-0011)

沢井忠夫自作自演集1 讃歌 (KYCH-2010) 日本の音2 箏 (COCF-9382)

沢井忠夫アンソロジー 凜 沢井忠夫一作品集1 (MISH-0003)